



現物貸借

増田 徹

知っていたらトクするちょっとしたテクニックが小ワザだとすれば、図書館員が現物貸借を小ワザと言ってはいけないと思われるだろう。その通りである。だが、病院図書館の人たちはあまり現物貸借をしない。病図協の年次統計調査報告書を見てみると、数字が低いとか高いとかの話ではなく、現物貸借は調査対象にすらなっていない。

ある病院図書館員は、文献複写依頼においてさえ病院図書館ということで断られてきた記憶があり、受けてくれない気がして、あまり現物貸借のことは考えてこなかったと言う。大学図書館員は意識していないかもしれないが、大学図書館と病院図書館とでは規模が違い、「相互利用」といってもかなり一方的であるという事実が、病院図書館員に引け目を感じさせている。他にも、医学論文の参考文献は引用箇所が明確な場合がほとんどで、図書のそれも丸ごと1冊が必要となることがそもそも少なかったということもあるのかもしれない。

とはいっても、未所蔵の資料について利用を希望される可能性は常にあるわけで、求められた資料の提供を責務とする図書館員は、その道筋を確保しておく必要がある。いったいどれだけの図書館が病院図書館の現物貸借を受け入れてくれるのかを確認するべく、医療系単科大学や大学医学部の図書館をピックアップして問い合わせしてみた。国公立3館に聞いてみた時点で3館とも病院図書館への現物貸借はOKだった。病院図書館が大学図書館に現物貸借をお願

いすることは基本的に可能なのではないか。これまであきらめていた方がいるなら考えを改めていいと思う。

さてもう一つ、医学系以外の図書の場合はどうするか。大阪府立中央図書館と大阪市立中央図書館に問い合わせしてみた。

大阪府立中央図書館には、すでにシステムが確立していた。うれしいのは大阪市立中央図書館で、問い合わせた時点では、こういった申し出（ネットワークを結んでいない図書館間における現物貸借）が初めてなので検討させてほしいというお答えだったが、翌日には試行してみますというご返事をいただいた。

大阪府立中央図書館も大阪市立中央図書館も、対象を府や市内の施設に限っていないので、全国の病院図書館がサービスを受けられる。

ただし、現物貸借は、本来想定されている利用者がその図書を利用する機会を阻害するし、相手館の労力が少なくない。資料を傷つける可能性もあれば、著作権をはじめ多くの法やルールを知り、守る必要がある。現物貸借は借りる方の高いモラルが求められることを忘れてはならない。他館の資料を預かる責任は重い。

また現物貸借は、利用者の金銭的負担も少なくない。購入希望図書の予算を確保し、図書館で購入することも考えられるが、予算には限りがあるし、明らかに今後利用が見込まれない図書を購入することにはためらいもあるであろう。

現物貸借についての送料を、利用者が負担する意志があるなら、一度 Amazon で検索してみるとよい。送料と変わらないか、あるいはそれ以下の価格で販売されているかもしれないので、

状態を気にしないなら、多くの図書が古書として安価で迅速に入手できる可能性がある。

以下、現物貸借の可能な館を挙げる。まず現物貸借へのいとぐちとしてこれらの館を活用していただければ幸いであるが、これらの館に依頼が集中するのは本意ではない。現物貸借の際に活用しやすい図書館を各館見つけていただき

たい。事前登録が必要な館があるので、いざというときのためにあらかじめ手続きを済ませておきたい。各館で現物貸借に関するルールが異なるが、現物貸借を受けてくれる図書館に迷惑をかけることはもとより、負担を最小限にするようくれぐれも心がけていただきたい。

大阪大学生命科学図書館

〒 565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-3

TEL 06-6879-2407

FAX 06-6879-2428

<http://www.library.osaka-u.ac.jp/ill.php>

- 依頼用書式あり。FAX または郵送にて図書借用依頼書を送付。
- 発送時着払い、返送時元払い。

大阪府立中央図書館 協力振興課

〒 577-0011 大阪府東大阪市荒本北 1-2-1

TEL 06-6745-0170 (内線:521)

FAX 06-6745-0262

- 依頼用書式あり。初回は「大阪府立図書館協力貸出登録票」を郵送する必要がある。また現物貸借には「協力貸出申込書」に記入の上、公印を捺印、郵送する。ともに FAX 送信は不可。
- 貸出時ゆうパックの着払い。返送時はゆうパックまたは書留郵便の元払い。
- 借り受けた図書を複写できるのは、著作権法第 31 条の権利制限によって例外的に無許諾で複製を作成することが可能な図書館に限られる。
- 貸出点数 10 冊以内。貸出期間は原則として 30 日以内で、延長なし。
- 土曜日・日曜日に梱包し、発送は週 1 回の月曜日となる。

大阪市立中央図書館

〒 550-0014 大阪市西区北堀江 4-3-2

TEL 06-6539-3302

FAX 06-6539-3335

- まだ施行の段階なので、問い合わせが必要。